

農業委員会だより

「6次産業化で新たな北上農業を」をテーマに第23回きたかみ農業フォーラムを開催



日本現代詩歌文学館で開催された同フォーラム

第23回きたかみ農業フォーラムは12月8日、「6次産業化で新たな北上農業を」をテーマに日本現代詩歌文学館で行われました。当日は、農家の方々や消費者、農業組織関係者など約230人が参加。会場内には女性参加者が従来よりも多く、6次産業化への興味の高さが伺えました。

高橋善郎会長のあいさつに続いて農業者表彰が行われ、農業経営に優れた実績を上げ、地域農業の振興発展に尽力した農業者2人と青年農業者1人に表彰状と記念品を贈呈。ま

その後、活動事例発表はシンポジウム方式で行われ、6次産業化に取り組んでいる3人が発表。花巻市の高松農業・農村振興協議会事務局長の熊谷哲周さんはガマズミなどの「山の果実」の加工に取り組んでいる状況について、同じく花巻市の東和こなっこ加工組合代表の薄衣忠孝さんは特別栽培米による米粉製造、販売状況などについて説明。矢巾町の3ちゃん矢次代表の高橋ムツ子さんは団体名の由来について、活動している地元の母ちゃん、ばあちゃん、父ちゃんに「ちゃん」が付いていることから合わせて「3ちゃん」にしたこと、味噌作りにその3ちゃんで取り組んでいる状況について、3組それが事例を発表しました。

コメントーターの池さんは「組織のネーミングはとても大事なこと。五衛門俱楽部のように一度聞いたら忘れないようなインパクトが必

た、農業委員会協力員として長年にわたり農業委員会業務の遂行に貢献した6人に感謝状が贈られました。基調講演では、五衛門俱楽部主宰「ハートウォーミングルーム福岡」代表の池ひでさんが「6次産業化に取り組む利点とは」と題して、自身が取り組んでいる農業経営の活動経験をもとにさまざまなエピソードを紹介しました。その中で池さんは「やはり方次第で利益を意識できる6次産業はとても面白い」と、にこやかな笑顔で話していました。

その後、活動事例発表はシンポジウム方式で行われ、6次産業化に取り組んでいる3人が発表。花巻市の高松農業・農村振興協議会事務局長の熊谷哲周さんはガマズミなどの「山の果実」の加工に取り組んでいる状況について、同じく花巻市の東和こなっこ加工組合代表の薄衣忠孝さんは特別栽培米による米粉製造、販売状況などについて説明。矢巾町の3ちゃん矢次代表の高橋ムツ子さんは団体名の由来について、活動している地元の母ちゃん、ばあちゃん、父ちゃんに「ちゃん」が付いていることから合わせて「3ちゃん」にしたこと、味噌作りにその3ちゃんで取り組んでいる状況について、3組それが事例を発表しました。

コメントーターの池さんは「組織のネーミングはとても大事なこと。五衛門俱楽部のように一度聞いたら忘れないようなインパクトが必

農業者表彰
おめでとうございます



農業団体と北上市議会議員との研修・交流会を開催

農業団体と北上市議会議員との研修・交流会は11月27日、プランニー北上で開催されました。同研修・交流会は各関係機関の情報交換・共有を目的に毎年開催しており、今年は約80人が参加しました。

当日は、主催者代表として花巻農業協同組合の高橋専太郎代表理事組合長のあいさつの後、参議院議員の平野達男氏を講師に、「TPPをめぐる状況と今後の農政について」と題した講演がありました。農地面積に占める担い手の集積面積の推移をはじめ農業生産の現状のほか、政府が進めようとしている新たな農業・農村政策の制度設計の全体像の考え方について、日本型直接支払制度、経営所得安定対策、食料自給率・自給率向上に向けた水田のフル活用、米政策の見直し、米価変動補填交付金などについての説明がありました。

また、平野氏は「今後、政策内容の詳細が示されてくると思うが、TPP交渉を含め注視していく必要がある」と参加者に伝えました。

参加者一人一人は、これらの説明に真剣に耳を傾け、今後の農業施策の動向に注視していくことを確認し合っていました。

（農業委員 菊池 慶幸）

（農業委員 伊藤 賢一）

◆農業や農業委員会に関することなど、気軽にご相談ください。
問い合わせ 北上市農業委員会事務局（本庁舎3階）☎ 72-8247

北上市農業委員研修会を開催

平成25年度北上市農業委員研修会は12月25日、本庁舎5階会議室で開催されました。

同研修会では、高橋敏彦市長から「北上市の今と未来への展望」、松岡裕農林部長から「北上市の農林業施策の現状と今後の展開」と題した講話が行われました。

講話の中で、高橋市長は市の今後目指すべき都市像として「あじさい型都市きたかみ」の推進の課題、行政経営の課題などを取り上げ、特にあじさい型都市の考え方は地域コミュニケーションをアシサイの花に例え、地域資源を生かし自立した地域発展を相互に連携して持続的に発展するものであるとの説明がありました。また、松岡農林部長の講話では、

国の新しい農業施策の概要と「きたかみ農業」の3つの基本方針として、優れた経営体の育成確保、収益力の向上、地域特性を活かした農業・農村の振興について話がありました。これから日本のにおいて人口減少や高齢化が進行する中、市勢の発展に我々も農業委員として力を結集すべきと思いました。

（農業委員 伊藤 賢二）



「北上市の今と未来への展望」について語る高橋市長

■審議データ

農地の権利移転・利用権設定等審議内容

上段 審議件数 下段 面積(m²)

農地法	12月	1月	2月
3条	11	3	2
	130,280	13,799	82,555
4条	0	1	2
	0	774	3,116
5条	4	8	5
	16,878	4,689	1,487
適用外証明	4	3	2
	2,285	1,484	141
農用地利用	38	371	133
集積計画	200,513	2,180,788	745,033

- ◎農地法3条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合
- ◎農地法4条…自己所有農地を農地以外に転用する場合
- ◎農地法5条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転して農地を農地以外に転用する場合
- ◎農地法適用外証明…農地を20年以上他の目的に使用しており農地の復元が不可能な場合
- ◎農用地利用集積計画…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合で、受け手側が大規模農家の場合



同意見交換会はたくさん的人が参加して行われました

平成25年度農業者等との意見交換会の開催 ～最新の農政について～

に、意義のある意見交換会を企画していきます。

（農業委員 小田嶋 勝治）

平成26年度の農作業労賃標準額が決定

農業者等との意見交換会は1月30日、農業関係者や市民などを対象に江釣子地区交流センターで開催されました。同意見交換会は毎年行っているもので、今年は農林水産省が掲げる4つの改革「農地中間管理機構の創設」「経営所得安定対策の見直し」「水田のフル活用と米政策の見直し」「日本型直接支払制度」と、「TPP交渉状況ならびに最新の農政をとりまく情勢」について、岩手県農業会議の三浦良夫事務局長の講話がありました。また、参加者と熱心な意見交換が行われ、昨今の農業情勢について活発な議論が交わされました。

26年度の農作業労賃標準額が農業委員会農政部会で審議され決定しました。同標準額は農作業を受委託する場合などに参考としていたぐも定した標準額を据え置くことになりました。

決定した標準額表は、3月末に農業委員を通じて各農家の皆さんに配布するとともに市のホームページにも掲示します。

新農業委員紹介



千田 芳紀
(和賀町岩崎・農政部会)
発令年月日
平成26年3月1日
岩手中部土地改良区推薦

岩手中部土地改良区からの選任委員であった佐藤功氏が退任され、新たに千田芳紀氏が就任しました。